



はやし幹 林もとひと県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

県職員対象にストレスチェック

12月定例県議会総務防災常任委員会

受検者の10%が 高ストレス判定

林幹人県議は県議会総務防災常任委員会副委員長として、安心・安全なふるさとづくりに全力をあげています。12月県議会では県職員を対象に行われたストレスチェックについて質問、また、NTTタウンページと連携して実施される防災啓発についてその内容を聞きました。林県議の質問と県担当者の答弁、さらに林県議のブログから「地域の発展を阻害?!農地転用許可制度」「北朝鮮の漂着船、生物兵器の可能性も！」を紹介します。

平成29年の知事部局での実施概要は、7月20日から9月5日までの間に知事部局職員の84・9%にあたる6275人が受検しまして、受検者の10%、629人が高ストレス者と判定されました。現在、職員の申し出に基づき、医師の面接指導が行われています。

また、所属ごとの集計・分析結果を通知し、各所属で

所長 総務ワークステーション
委員ご指摘の通り、ストレスチェックにつきましては労働者の義務ではないのですが、職員のメンタルヘルス不調を未然に防止するという点につきましては、すべての職員が受検することが望ましいと考えています。

A photograph of Chen Shui-bian, a man with dark hair and a slight smile, wearing a dark blue pinstripe suit jacket over a white shirt and a red patterned tie. He is seated at a desk, facing slightly to his left. A silver microphone stand is positioned in front of him, angled towards his right. On the desk in front of him are some papers and a pen. The background is a plain, light-colored wall.

総務防災専門委員会で質問する林幹人副委員長

林副委員長 知事部局に
おいて、ストレスチェックを行つたとの話があつたが、そ

職場環境の改善に取り組んでいるところでして、今後、各所禹の取り組みを把握し、

所長 ストレスチェック制度は、労働安全衛生法の一部改訂により、労働者の心理的負担の程度を把握するために、医師・保健師等による検査を実施することなどを事業者の義務としたもので、平成27年12月から施行されました。このストレスチェック制度は、質問に回答する形で、労

総務ワークステーション
所長 今回、私ども総務部
が知り得る内容を説明しま
したが、実際のところ、他部
局におきましても同様のス
トレスチェックが行われてい
ます。

高ストレス、うつの引き金

だが、84・9%以外の受けっていない人の中に高ストレスの方が多いいるのではないかと心配だ。

これまで多数の議員が一般質問などで自殺対策を取り上げているが、自殺者の多くがうつを発症しているということだ。そのうつ状態の前段が高ストレスなのではないかと私は考える。ここでしつかりと対策を取れば、うつ病も防げて、その先の自殺も防げるのでないかと思う。

受けていない方は、自覚症状がないことが非常に多く、自分にストレスがかかつていることが分かつてになかつたり、あるいは、分かつっていても、いわゆる「世間体」を気にして受検しないケースがあるのでないか。

義務ではないので強制はできないが、受検していない方にこそ、ケアを必要としている人がいると認識し、工夫を重ねてほしい。

期間中に受検率アップのため、各所属の実施事務従事者あてに勧奨の依頼を行いました。

て不利益な取り扱いが行われないことなどを周知することなどを実現するまいりたいと考えております。また、引き続き、受検の勧奨についても継続して審査していくことを考えております。

林もとひと 直議・プロフィール

◎略歷

昭和48年 9月	銚子市に生まれる
平成 4 年 3月	銚子市立銚子高校卒業
平成 8 年 3月	玉川大学文学部卒業
5月	米国ロードアイランド州語学留学
平成10年 4月	空港グランドサービス入社
平成12年 4月	衆院議員・山崎拓秘書
平成15年 4月	衆院議員・林幹雄秘書 (成田市担当)
平成19年 4月	千葉県議会議員初当選
平成23年 4月	千葉県議会議員再選
平成27年 4月	千葉県議会議員 3選
・県議会	総合企画水道常任委員会委員長
○現職○	
・自民党	ちば青年局次長

 @motohito884

Facebook 林 幹人

ホームページ 林もとひと

検索

防災タウンページ全戸配布



円滑な審議へ委員長を補佐する林幹人副委員長(中央)

ジ株式会社と防災啓発に関する協定を締結し、来年7月頃から防災啓発情報や地域に密着した避難所情報などが掲載された防災タウンページの配布を予定していることだ。

この防災情報タウンページの中身だが、どういった内容を掲載する予定なのか。

防災政策課長 防災タウンページの内容ですが、災害用伝言ダイヤルや家具の固定、備蓄品などの災害での備えの情報、各市町村の避難場所、避難所マップ、それから、県からのお知らせなどが掲載される予定になっています。

林副委員長 紙面のボリュームとしては、どの程度を予定しているか。

林副委員長 いわゆる固定電話を契約していく、黄色いタウンページが配られている家庭に届くという認識でいいのか。

防災政策課長 今現在、固定電話の数が大分、減ってきているということで、NTTタウンページの方では、全家庭と事業所の方に配るということを考えていると聞いています。

林副委員長 私の周囲にも、固定電話を使わずに携帯電話一本でという人も増えてきていて、子どもがいる家庭でも固定電話を契約しないことも多いようなので気にしていたのだが、戸配布ということで安心した。

林もとひとブログより

10月23日から27日の日程で台湾を訪問してきました。台湾政府が日台の相互発展や交流の深化を目的に、日本の若手政治家を超党派で招聘する事業で、総勢30名の参加となりました。

特に印象に残っているのが「台湾蘭花生物科学技術。」の見学で、日本の資本が多くの入っている「ロングニイフサイエンス社」から蘭の生産について説明を受けました。

度管理」「害虫対策」「製品均一性確保」など、あらゆる面で管理がし易いからで、監査中も定期的に天井のスリンクラーから自動散水作動していました。

バツと見は「ビールハス」ですが、そこはコンピューターで徹底的に品質管理され、二年後には

地を立地条件等により区分され、開発要請を農業上の用途に支障の少ない農地に導するとともに、具体的な土地利用計画を伴わない生産保有目的又は投機目的の農地取得は認めないとされています。

確かに「食」を支える農

調、与える栄養素などを「ピューラーで管理することで、極限まで収穫性を高めた農産物を近代的なビル一室で生産できる時代です。例えばワンフロア高さトメもあれば稻は十分育んで、500メートルのビルを建てるに250階建てにできること。まさに「石のコン」。

ゴン
こと
高め
ルの
す。
こ2
つに
建て
さま
うり、結果として地域
展の妨げとなつてい
のは、思考停止が過
ます。
なんでもOKとは
かずとも、地域開発
最大の障壁と呼ばれ
い程度には「緩和」す
きだと思います。

地域の発展を阻害?! 農地転用許可制度

テレビや新聞でも報じられており、北朝鮮からみられる漂着船が急増しています。平成25年以降45～80件で推移していましたが、昨年は過去最多ペースとなつていて11月だけで28件が確認されています。

慢性的な食糧不足が続く北朝鮮は、国際社会の経済制裁が強まる中「冬季漁獲戦闘」と称して漁獲量向上を求める指示が出されていました。

船や船員を調査不審な点は特に監視船急増の原因がないでしよう。

何かと台灣訪問の機会が多いので、正直さほど真新しい発見は無いだろうと思いつつ参加したのですが、思いがけず多くの収穫がありました。

産される蘭の多くは日本へ輸出されること。特に日本では「白」が好まれるため生産量も多くなります。

床面もコンクリートで完全に固めてあるため、施設のカテゴリ一としては「工場」となるそうです。この方ば「衛生管理」「温度管理」「温

これを日本でやろうとなると立ちはだかるのが「農転用許可制度」です。食料給の基盤である優良農地を確保と、住宅地や工場用地等非農業的利用目的の相反する土地利用目的の調整を計るための制度で、

だから農地を守れ! うすタンスで農地の商業用などを制限することも要であつたと思います。しそれは過去の話です。いら農地を守つても、農業従業者が年々激減し続ける現状を変えない限り、手付かずの荒れ地が広がっていく一方

ターマネジメントを導入すると
短1ヶ月で収穫が可能となり、年間12回収穫できる
大型米工場を都心に建設することも可能です。

べてみて
見当たらぬ
のことがわ
と見て間違
今のところ

が見習ひながら行つた。
先日、参議院の予算委員会で自民党の青山繁晴議員が「北朝鮮が兵器化した自然痘ウイルスを持つてゐる。いうのは国連の専門官のでも常識だ。飛沫感染でうる。もし上陸者に一人でも染させられた人がいたら、クチンを投与しないと無理」と指摘しました。

員員天と間つ感ワ限」
（元）も、も、
強烈の社説と謂ふ
います。
レーダーで発見しにく
といわれる木造船に、こね
バイオ兵器を載せて日本
攻撃してきたら、果たし
現状対処できるのか、甚
疑問です。
日本政府は漂着した漁
とみられる船員を、帰国
望者はそのまま北朝鮮に
り返すという対応をとつ
いるようですが、彼らは「
物兵器による攻撃が可能

いらしてだらを生きて師希送てかが三ヤノハの意
向きがちですが、それも北鮮の思惑なのかも知れません。核ミサイルで日本を土と化すよりも、細菌兵器などで人間だけを抹殺するほうが、占領した後、有効用しやすいと考えても不議はありません。

政府はあらゆる可能性を疑い、それに対応しなればなりません。そして国は危機感を持ち、真剣に会の議論に注目すると

北朝鮮の漂着船、生物兵器の可能性も！

いちらをだして希師生送てかん。核ミサイルで日本を鮮の思惑なのかもしまん。核ミサイルで日本を土と化すよりも、細菌兵器などで人間だけを抹殺しほうが、占領した後、有効に使やすいと考えても不議はありません。

政府はあらゆる可能性を疑い、それに対応しなければなりません。そして国は危機感を持ち、真剣に会の議論に注目するに、その議論を展開する員を真剣に選ばねばなりません。

政に新風 市民の声を生かします

●県政や成田市のご相談・ご要望はお気軽にどうぞ 〒286-0134
成田市東和田569 なるげや陶器ビル3階D号
林もとひと 県議事務所 TEL.0476-20-0884
FAX.020-4622-9781